

SENDAI

- Capital of Social Innovation -

スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の取り組みと成果について



1. 仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会の取り組み
2. 都市の環境・繋がりの状況
3. 令和4年度活動計画について

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会の取り組み

SENDAI
STARTUP
ECOSYSTEM

拠点形成計画に掲げるKPIの達成状況について（2022年6月時点）

300+

スタートアップ
創出（累計）



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体の支援を通じて大学等の研究成果や技術シーズを活用し、社会課題の解決を目指すスタートアップを300社以上輩出・育成する。



215社

50億+

資金調達額
（2024年）



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行ったスタートアップの資金調達額の合計額が2024年単年で50億円以上となる。



32億200万円

1+

ユニコーン創出
（2024年）



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行ったスタートアップのうち時価総額が2024年時点で1,250億円以上となるユニコーン企業を創出する。



東北大学発1社

clean
planet
株式会社クリーンプラネット

400+

地域企業との
協業（累計）



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体の支援を通じて地域の大企業や中小企業とスタートアップの協業を400件以上実現する。



337件

100+

グローバル
（累計）



仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行うスタートアップが海外のスタートアップイベント出展等を通じて海外企業や自治体等との協業を100件以上実現する。



25件

50+

スタートアップ
ビザ（累計）



外国人創業・起業活動促進事業（スタートアップ・ビザ）を活用し、仙台・東北での起業を希望する外国人に対して支援を行い50名以上の起業を支援する。



5名

2019年12月 仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会設立

Our Goal

仙台・東北から世界を変える「スタートアップ」が生まれ、
世界中からソーシャルイノベーターが集う都市へ
SENDAI - Capital of Social Innovation -

Our Mission

新しい価値を持続的に産み出すスタートアップ・エコシステムを
産官学金労言で構築し、社会課題解決に挑戦する人々と伴走して
仙台・東北における地域課題の解決と地域経済の活性化を実現する。

Target

仙台の強み・特徴を活かしつつ、
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続ける東北のスタートアップ



構成メンバー数

48団体



発起人団体12団体に加え、新たに東北地域及び新潟県の民間企業や支援機関、ベンチャーキャピタル、自治体、
国立大学等33団体が参画。今年度はさらに3団体追加され、スタートアップ支援のネットワークがさらに拡大。

【仙台スタートアップ戦略（本体版）の策定】

- ▶ 仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会において、「起業の街・仙台」を戦略的に推進していくための指針となる「仙台スタートアップ戦略（本体版）」を策定。
- ▶ 協議会会員が有する「モノ」・「ヒト」・「カネ」・「情報」等の豊富な支援施策に見える化し、支援者間での課題共有や他都市のキーパーソンを招いた意見交換会等で課題を明確化。
- ▶ 会員相互の横連携の強化を進めていくことでスタートアップ企業に対する効果的な支援施策展開を促進。

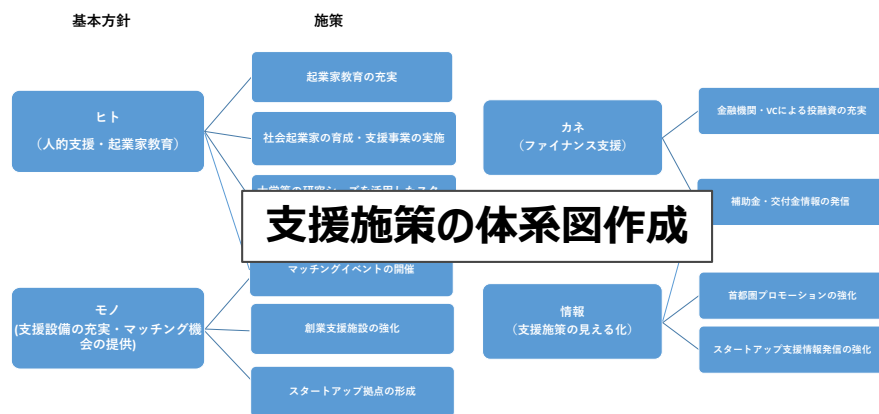


【戦略の内容】

- ・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の目指す姿
- ・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の戦略
- ・当協議会が支援する「スタートアップ」像
- ・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の支援内容全体像
- ・各団体の取り組みと役割
- ・スタートアップ戦略の施策と体系 など

	具体的な施策	主な支援者	
1	ヒト（人的支援・起業家教育）	① 販路拡大・協業先の探索 ② 起業アイデアのブラッシュアップサポート ③ アクセラレーションプログラムの提供 ④ 各土業による無料相談 ⑤ 東北大学アタートアップカフェ ⑥ 大学生向け起業教育	七十七銀行 経済連合会・同友会・中小機構 IMPACT Foundation JAPAN MAKOTO 産業振興事業団 東北大学 仙台経済同友会
2	モノ（支援設備の充実）	⑦ OLPプラットフォームによる支援者との繋がり ⑧ GAPファンド支援	七十七銀行 東北大学
3	カネ（ファイナンス支援）	⑨ 投資・融資による資金提供 ⑩ 補助金情報の共有 ⑪ VCファンド、非上場型投資の実行	七十七銀行 宮城県・仙台市・東北経済局 MAKOTO
4	情報発信	⑫ ポータルサイトでの支援情報発信 ⑬ 首都圏プロモーションイベントの開催	宮城県・仙台市 仙台市

各団体の施策の見える化



支援施策の体系図作成

【勉強会の開催】

▶第1回勉強会

「起業が身近になる社会へ。仙台市から始まる、地域課題のを見つけ方向き合い方」

株式会社MAKOTOキャピタル 代表取締役 福留秀基氏

スタートアップスタジオ協会 代表理事 佐々木喜徳氏

仙台市産業振興課 創業支援係長 白川裕也

▶第2回勉強会

「新しい企業の形「ゼブラ企業」について～よりよい社会の創造と企業成長の両立～」

株式会社ゼブラ アンド カンパニー 共同創業者／代表取締役 田淵良敬氏

ICHI COMMONS株式会社 代表取締役 伏見崇宏氏

▶第3回勉強会

「マーケティングリサーチの組み立て方～リサーチを活用し、事業の成功確率を上げる～」

株式会社マクロミル 上席執行役員 小池直氏

▶第4回勉強会

「投資型クラウドファンディングの本当のところ～資金調達を成功させるコツ～」

株式会社FUNDINNO マネージャー/ベンチャーパートナー 岡宗一郎氏



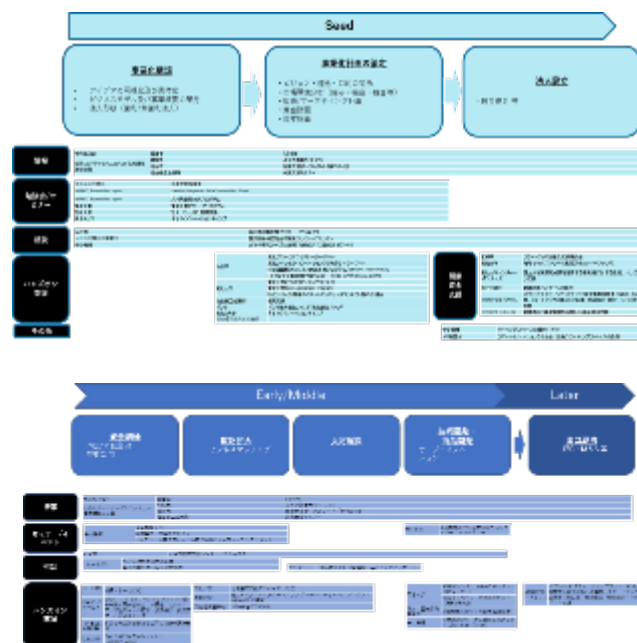
【会員間のスタートアップ支援事業の連携強化】

①施策マップ・横連携可能性リストの整理

▶事務連絡会議でレビューを行い、2号会員の支援施策なども聞き取りし、施策マップ・横連携可能性リストを整理した。

②協議会ホームページの積極的活用

▶協議会ホームページのNEWS、EVENTページに支援施策やイベント情報を随時掲載した。
▶国と連携した支援施策の「J-Startup TOHOKU」のPRページを協議会HP内に作成した。



【施策マップ一部抜粋】

【HPを活用した情報発信】

【J-Startup東北ページ】

【スタートアップ企業創出・育成に向けた環境整備のためのアンケート調査の実施】

▶スタートアップ企業の抱える支援ニーズの把握のため、東北グロースアクセラレーター採択企業・卒業企業及びJ-Startup TOHOKU関連企業、ソーシャル・イノベーションアクセラレーターの採択者・卒業生に対してアンケート調査を実施。

【スタートアップ企業の支援ニーズ】

1位 資金調達（シード、アーリー、ミドル全ステージで1位）

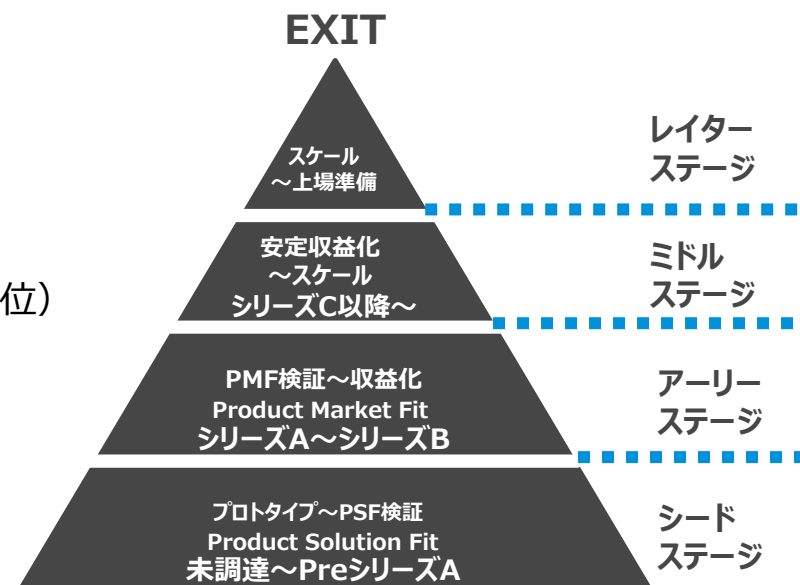
2位 販路開拓・マーケティング（アーリー、ミドルステージで同率1位）

3位 製品の開発

4位 経営ノウハウの不足

5位 人材確保

その他：顧客ヒアリング、組織体制の見直し 等



※Product Solution Fit：アイデア・コンセプトの段階から課題に対するソリューションの仮説検証段階

※Product Market Fit：顧客が満足する最適なプロダクト・サービスを最適な市場に提供している状態

※EXIT：株式上場（IPO）またはM&Aによる事業会社への売却

スタートアップ企業の支援ニーズをもとに、東北地域のスタートアップ・エコシステムの発展に向けて協議会会員内で支援施策についてディスカッションを進める



東日本大震災から10年の節目を迎えるにあたり、イスラエル大使館と株式会社MAKOTO、JETRO、東北大学、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会が連携し、東北地域のスタートアップ企業に対して、イスラエル人講師によるオンラインセミナー、イスラエル人メンターによる個別指導などの支援プログラムを2021年7月～2022年3月に実施。東北から大学の研究成果等を活用した世界に通じるイノベーション創出を目指す。

参加スタートアップ10社

★：東北大学発スタートアップ

